

尻別川水系河川整備計画〔変更〕（案）に関する修正箇所一覧表

1. 第5回流域委員会における各委員からのご意見を踏まえた修正箇所

章	頁	行	〔変更〕（原案）	〔変更〕（案）
2-1-3(1)	51	22	さらに、外来種、特に特定外来生物の生息・生育が確認された場合は、在来種への影響を軽減できるよう関係機関等と迅速に情報共有するなど連携して適切な対応を図る。	さらに、外来種、特に特定外来生物の生息・生育が確認された場合は、在来種への影響を軽減できるよう関係機関等と迅速に情報共有するとともに、多様な地域活動と連携して適切な対応を図る。
2-1-3(3)	54	7	尻別川は、羊蹄山を背景とした河川景観、河岸段丘を利用した農業地帯と調和した水辺等の変化に富んだ特徴的な水辺景観を有しており、その保全・創出を図る。	尻別川は、羊蹄山を背景とした河川景観、河岸段丘を利用した農業地帯と調和した水辺等の変化に富んだ特徴的な水辺景観を有していることから、遠景、近景や水面からなど様々な視点からの景観を考慮し、河川空間から眺望される農地・市街地・山地等と一体となった景観の保全・創出を図る。
2-1-3(3)	54	写真中央	羊蹄山と尻別川（栄橋から望む）	羊蹄山と尻別川（川面から羊蹄山を望む）
2-2-1(2)2)d)	68	11	加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進する。（中略）なお、尻別川流域では世界的な観光都市を抱えている特性上、住民のほか観光客やインバウンドも多く存在することから、的確な避難判断・行動に資するよう、防災情報の多言語化の促進、携帯電話等通信機器を最大限に活用した迅速な情報提供を行うとともに情報伝達手段についても、関係自治体やニセコ観光圏協議会等と連携して取り組む。	加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進する。気候変動により発生しうる水害リスク情報に関しては、今後も最新の科学的知見に基づき充実を図り、地域に提供する。（中略）なお、尻別川流域では世界的な観光都市を抱えている特性上、住民のほか観光客やインバウンドも多く存在することから、的確な避難判断・行動に資するよう、携帯電話等通信機器を最大限に活用した迅速な情報提供や、情報の多言語化等、誰もがわかりやすく理解しやすい情報について、関係自治体やニセコ観光圏協議会等、既存の枠組みと連携して取り組む。
2-2-2(1)	72	8	尻別川の水は、その豊富な水量や清流日本一と称される水質を誇っていることから、尻別川の水環境は流域の生産活動等にとって極めて貴重な資源であり、この資源の継続的な保全に努める。	尻別川の水は、その豊富な水量や清流日本一と称される水質を誇っており、尻別川の水環境は流域の生産活動等にとって極めて貴重な資源であることから、流域住民の意識の醸成を図りつつ、この資源の継続的な保全に努める。

2. 流域住民からのご意見を踏まえた修正箇所

章	頁	行	〔変更〕（原案）	〔変更〕（案）
1-1ほか	4	12	また、尻別川は国内最大の淡水魚であるイトウが生息し・・・	また、尻別川は国内最大の淡水魚で、重要種であるイトウが生息し・・・
1-1ほか	4	13	サクラマス	サクラマス（ヤマメ）
1-2-2(3)ほか	28	16	また、特定外来生物としてアライグマ、ミンク、セイヨウオオマルハナバチ、オオハンゴンソウが確認されている。	また、特定外来生物としてアライグマ、ミンク、セイヨウオオマルハナバチ、オオハンゴンソウ、オオキンケイギクが確認されている。

3. その他事務局での文章の適正化等を踏まえた修正箇所

章	頁	行	〔変更〕（原案）	〔変更〕（案）
1-1	1	8	蘭越町磯谷	蘭越町港町
1-2-1(1)	7	5	昭和36	昭和36年
1-2-1(3)	16	39	降雨変化倍率	降雨量変化倍率
1-2-2(1)	24	図1-17	※ 出典：一級水系水利権調査(北海道開発局) 令和5年（2023年）3月現在	出典を削除、※数値は、水利権の最大取水量による。を追加
1-2-2(3)	29	表1-7		哺乳類、魚類 確認種 「他」を削除
1-3-1	34	3	第8期北海道総合開発計画では、・・・目標としている。	第9期北海道総合開発計画では、以下を2050年の北海道の将来像としている。 ①「食、観光、脱炭素化等の北海道の強みを活かした産業が国内外に展開し、豊かな北海道が実現することで、我が国の経済安全保障に貢献している。」 ②「デジタルの実装により、北海道内の地方部における定住・交流環境が維持されるとともに、国内外から人を魅きつける多様な暮らしが実現している。」 また、将来像に向けた第一歩として、豊かな北海道を実現し、我が国に貢献する4めの土づくりとしての目標を定めている。 目標1「我が国の豊かな暮らしを支える北海道 ～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」 目標2「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造 ～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」
1-3-1	34	14	釣り、サイクリング	サイクリング、釣り
1-3-1	36	11	流域の普及啓発に努める。	流域への普及啓発に努める。
1-3-4	39	10	本河川整備計画においては、気候変動後（2℃上昇時）の状況においても平成22年（2010年）4月に策定した前河川整備計画での目標（戦後最大である昭和50年（1975年）8月下旬洪水規模）と同程度の治水安全度を概ね確保できる流量を安全に流下させることを目標とする。	本河川整備計画においては、気候変動後（2℃上昇時）の状況においても平成22年（2010年）4月に策定した前河川整備計画での目標（戦後最大である昭和50年（1975年）8月下旬洪水規模）と同程度の治水安全度を確保できる流量を安全に流下させることを目標とする。 概ねを削除
2-1-1(1)2)	43	20	また、オシドリのほか、希少猛禽類であるオジロワシの止まり木となっている河畔林の保全を図る。	また、オシドリのほか、希少猛禽類であるオジロワシ等の止まり木となっている河畔林の保全を図る。
2-1-1(1)2)	45	図2-1	文言追加	※希少猛禽類であるオジロワシ等の止まり木となっている河畔林の保全を図る。
2-1-3(1)	51	14	このため、水生植物や複雑な河岸が連続する水際環境や瀬・淵環境を維持するなど、多様な河川環境の保全・創出に配慮する。	このため、水生植物や複雑な河岸が連続する水際環境や瀬・淵環境を維持するなど、多様な河川環境の保全・創出を図る。
2-2-1(2)3)a)	70	19	今後、社会情勢の変化や地域住民の高齢化による樋門操作員の確保も困難になることが予測されること、（中略）水位変化に対応した自動開閉機能を有する施設への改善や統廃合施設操作の遠隔化を図るなど、操作員の安全を確保するとともに的確に施設を運用できる体制の整備を図る。	今後、社会情勢の変化や地域住民の高齢化による樋門操作員の確保も困難になることが予測されること、（中略）水位変化に対応した自動開閉機能を有する施設への改善や統廃合及び施設操作の遠隔化を図るなど、操作員の安全を確保するとともに的確に施設を運用できる体制の整備を図る。